



1



2



1



2

令和5年成人式典

1月8日(日)、本市はハウステンボス敷地内のゲルックホールで「令和5年佐世保市成人式典」を開催し、20歳を迎える皆さんの新しい門出を祝福しました。本年の式典のテーマ「New Era ~ 飛翔(はばた)け 輝く未来へ~」には、「コロナ禍を乗り越え、次の時代を力強く生き抜き、輝く未来に向かって羽ばたいていこう」という思いが込められています。

同年代の検討委員11人が企画・運営を行い、対象者2,315人のうち1,795人がハウステンボスに入園し、友人たちとの久しぶりの再会を喜ぶ姿が園内各所で見られました。

二十歳の決意では、佐世保市役所の山口貴暉(たかあき)さんと成蹊大学

の田口莉麻(りま)さんが登壇。山口さんは「佐世保を安心して暮らせるまちにしたい」、田口さんは「人を笑顔にし、少しでも社会の役に立てるような社会人になりたい」とそれぞれ抱負を述べました。また、朝長市長は式辞で「自分の可能性を信じて、思いやりと感謝の心を忘れずに、新しい時代を切り開いていただきたい」と新成人への激励の言葉を送りました。

開式前には「歌劇 ザ・レビューハウステンボス」による祝いの舞や演奏が披露され、新成人から大きな拍手が送られました。



成人式典

NEO 朝市 Sasebo Dawn Market

1月21日(土) 早朝4時から、佐世保朝市で「NEO 朝市~サセボドーンマーケット Sasebo Dawn Market~」が開催されました。

地元の人はもちろん、観光客にも人気の佐世保朝市。その歴史は古く、戦前は現在の湊町(アルパークキ橋付近)の川沿いで自然と始まったのがその発祥とされています。その後、昭和46年に現在の場所に移転し、長く佐世保市民の台所として親しまれてきました。

今回のイベントは、魅力的な地域資源である朝市への若い世代の出店や来場のきっかけづくりになればと、万津6区主催で企画・実施されました。

会場には、早朝にも関わらず家族連れなど多くの方が訪れ、昔ながらの露店で新鮮な魚や野菜・果物などの買い物を楽しむ人、市内外から集まった出店者の皆さんとの話が盛り上がる人など、懐かしいのに新しい、にぎやかなのにどこかのんびりとした、いつもとはひと味違う雰囲気朝市となりました。



万津6区
ホームページ



佐世保朝市
ホームページ



3



4



5



3



4



5



6



7



6



7

1 2 会場内の様子 3 4 5 20歳を迎える皆さん 6 成人式典検討委員の皆さん 7 歌劇 ザ・レビューハウステンボス 祝いの演舞

1 2 会場内の様子 3 朝市復刻うどん 4 佐世保独楽回し 5 来場者と会話する出店者 6 佐世保朝市入口 7 昔ながらの露店販売